



FACT FILE

協会創立▶1889年
エンブレム▶スプリングボクとプロテア（国花）
チームネーム▶Springboks スプリングボクス
ウェブсайт▶www.sarugby.co.za

f /springboks
t @Springboks
i @bokrugby

RWC RESULTS

1987 出場せず
1991 出場せず
1995 優勝
1999 3位
2003 準々決勝敗退
2007 優勝
2011 準々決勝敗退
2015 3位

HEAD COACH

アリスター・クツツェー
Allister Coetzee



1963年5月23日 生まれ。2015-2016年シーズンは日本のトップリーグチームで指揮を執った。それ以前の6年間はスーパーラグビー・ストーマーズの監督を務め、南アフリカ国内の年間最優秀

コーチ賞を受賞したこともある。ラグビーワールドカップ2007では同国代表アシスタントコーチとして同大会優勝の経験もある。

HISTORY

歴史

かつてラグビー大国、世界最強と言われた南アフリカのラグビーだったが、アパルトヘイト（人種隔離政策/1994年に撤廃）により、世界のラグビー界から隔絶された期間があった。そのため、1987年と1991年のラグビーワールドカップには不参加だった同国。国際舞台に復帰したのは1992年で、ラグビーワールドカップへの参加は自国開催だった1995年大会が初めてという歴史がある。

白人の好むスポーツという印象から、国内ではサッカーの方が人気がある。そういった背景から、同国には各スポーツ代表チームにはある一定の割合以上の黒人選手を入れなければいけないという規定もあり（60%）、純粋に最強チームを構成できないなど、他国にはない複雑な事情も抱えている。ラグビーでも代表監督がもっとも頭を悩ませる一面だ。

チームの愛称「スプリングボクス」は、同国のサバンナを駆けるウシ科の動物から。

ROAD TO RWC 2019

近年の足どり

第1回大会、第2回大会とラグビーワールドカップには不参加だった同国だが、初参加だった1995年大会で初優勝すると、2007年の大会でも優勝。

ラグビーワールドカップで複数回優勝したことがある国は、ニュージーランド代表（3回）、オーストラリア代表（2回）と同国だけだ。世界の頂点に立つときのチームはディフェンスがとて強固。1995年の優勝はアパルトヘイト撤廃から1年後の出来事で、複数の人種、肌の色の国民たちが融和して成り立つためレインボーネーションと呼ばれる同国をひとつに結束させる大きな役割を果たした。

国内の混乱を超えて輝く実績を残してきた南アフリカ代表は、2011年と2015年のラグビーワールドカップでベスト4には入ったが、なかなか世界のトップには返り咲けない。2015年大会ではボール戦初戦で日本代表に敗れ、ジャイアントキリングを許すことになってしまった。

STYLE

戦力とプレースタイル

ラグビーワールドカップ2015後、ハイネケ・メイヤー監督からバトンを受けたのはアリスター・クツツェー監督。2015年度シーズンはトップリーグで指揮を執った人物だ。

「南アフリカ代表の監督として大きな責任を感じている」と意気込みを語ったが、船出は厳しいものとなった。2016年度は12戦のテストマッチを戦い4勝のみ。同チーム史上最低の成績と言っているものだった。また、新主将に指名したHOアドリアーン・ストラウスが同年限りでの代表引退を表明。苦しい状態に陥った南アフリカ代表だが、2017年に入って急ピッチで再建に着手している。

8月～10月におこなわれたザ・ラグビーチャンピオンシップでは3位ながらも、アルゼンチン代表に2勝オーストラリア代表と2引き分けの結果を残した。ニュージーランド代表には2敗も、最終戦では24-25と迫る健闘。HOマルコム・マークスの飛躍などもあり、チームには明るい材料が多い。

PLAYERS TO WATCH

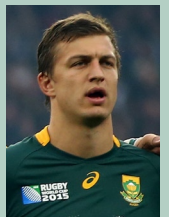
LO
エベン・エツベス
Eben Etzebeth

大きい（204cm、118kg）けれど、よく動き、ワークレートも高い。2017年のザ・ラグビーチャンピオンシップではキャプテンを務めた。同大会終了時点で25歳にしてキャップ数63を獲得した。2015-2016年シーズンは日本のトップリーグでもプレーした。



SO
ハンドレ・ポラード
Handre Pollard

2014年にはワールドラグビーの年間最優秀ジュニア選手賞に輝くなど若き才能は早くから注目されてきた。188kg、97cmとサイズにも恵まれた司令塔で、自らゲインラインに仕掛けるフィジカルの強さが魅力だ。ラグビーワールドカップ2015後は日本でもプレーした。



RWC2019 同プール対戦チームとの過去大会対戦成績

v ニュージーランド代表

- 15 - 12 RWC1995 (決勝)
- 22 - 18 RWC1999 (3決)
- 9 - 29 RWC2003 (準々決勝)
- 18 - 20 RWC2015 (準決勝)

v イタリア代表

対戦なし

v アフリカ地区1

-

v 敗者復活予選優勝チーム

-